

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第23回 2020年4月)



これまであえて触れずにいたのだが、もう新型コロナウイルス感染症が大変なことになっちゃってます。これはもう大規模災害といっても過言じゃない。もし自分が責任ある立場だったらどんな対策を立てるだろうと考える毎日。人の生命がかかっているだけに、おちゃらけたことを言えないのがつらいです……

これを書いている今、とりわけイタリアが気の毒な状態になってます。急速に感染がひろがり、死者数は1万を越える最悪の事態。食いしん防にとってイタリアは心と胃袋のふるさと、行ってみたい国ナンバーワン。イタリア料理を口にするたびに、「前世は絶対にイタリア人だな」と思うほどアモーシな国なんです。

外出禁止令が出て住居内にとどまることを余儀なくされたイタリアの人たち。さぞかし沈み込んでいるかと思いきや……TVに映った彼らの姿は、窓辺でギターをかきながら歌をうたい、それにご近所も加わって大合唱してる！ とことん前向きでご陽気な様子は、さすがラテン系！

同じ映像を見て「イタリア人は音楽がないと死んでしまう人たちなんだ」と感じた方もいたみたいですが、かく言う食いしん防も「食べ物と音楽がないと生きていけない」人なんです。



これまで映画の話が多かったので何となく予想がつくかもしれないけど、サントラ盤と呼ばれる映画音楽の大ファンでして。中学時代からレコードの収集を始め、途中ちょっと他のジャンルに浮気もしたけど、平成に入るところからCDに切り替え、ここまで集めた映画音楽は、数えたことないけど数千タイトルに上る。

中でもイタリア映画のサントラがかなりの割合を占めている。もおたまらなく良いんだよね。ノーテンキなメロディとリズムが体にしっくりくる。特に好きなのがエンニオ・モリコーネという作曲家。小学生のころTV洋画劇場のマカロニ・ウェスタンで初めて聴いた時には「なんちゅう奇抜な音楽を作る人がいるんや」と驚きながら、その魅力にずっぽりハマった。

食いしん防はモリコーネのことを、モーツァルトに匹敵する天才だと思っている。モーツァルトは30歳代で早逝したが、モリコーネは90歳を越えた今も現役！ これまでに作った映画・TV音楽は400作以上で、他に演奏会用音楽からポピュラー歌謡曲まで、とてつもない数の作品を送り出している。一読耳にしたら忘れられない美メロは数知れず、アヴァンギャルドな曲は今なお前衛的で、特に初期作品のブッ飛び具合は他の追隨を許さない。



日本とも縁が深く、食いしん防が高校生のころ公開された池田満寿夫監督の「エーグ海に捧ぐ」(チッチョリーナのヌードに大興奮した)や、NHKが制作したドキュメンタリー「ルーブル美術館」、同じくNHK大河ドラマ「武蔵」(市川海老蔵が宮本武蔵を演



じた)の音楽を担当している。小泉純一郎も首相当時にモリコーネファンであることを広言し、2004年の来日公演では会場に駆けつけている。もちろん食いしん防も行きましたよ！生で聴くお馴染みの曲に大感動。モリコーネはサービス精神ゼロで淡々とタクトを振るだけ(一言もしゃべらず)

だったけど、一生の思い出です。

名前は知らなくても彼の音楽は何度も耳にしたことがあるはず。TVのドキュメンタリーやバラエティ番組のBGMでバンバン使われているからね。映画「ニューシネマ・パラダイス」の曲あたりが超有名。100年後にも20世紀を代表するクラシックの名曲として聴かれ続けていると思う。

実は食いしん防、自分の結婚式でジャストリオに頼んでモリコーネの曲を生演奏してもらったのだ。楽譜がなかったのでCDを渡して耳コピーしてもらった。式場のムードは最高で、列席者からも「いや〜、あの音楽が良かった」と褒めてもらった。

他にもイタリアには大好きなものがいっぱい。ぜひとも今回の危機にも負けずに乗り越えてほしいと祈っています。フォルツァイタリア！コロナに負けるな！茄子とベーコンのトマト・スパゲティ食べて応援するかんね！



TOPICS

☆コロナの影響で・・・

元年度の締めくくりとして3月に予定されていた防災部会議とこと防代表者会議が相次いで延期に。悔しいけど仕方ないね。新年度のスタートにも影響が出なければいいけど……



☆ころな二モ負ケズ、研修会に参加

自粛の嵐が吹き荒れるさなか、「災害支援市民ネットワークしが」主催の研修会が開催されたので、行ってきた。3月27日と年度末ギリギリ。場所は前回と同じブランチ大津京。同じパン屋のパンを食べて(美味しかった!)気合いを入れた。

まず高島市社協の井岡仁志さんから、昨年の東日本台風と一昨年の西日本豪雨被災地の詳細な報告があった。千葉や東北の被災地では、民間ボランティアの数が



圧倒的に不足していたそうで、これは毎年のように続く“災害疲れ”の

せいではないかとの分析だった。つまり今後滋賀で大きな災害があった場合でも、県外からのボランティアはあまり期待できないということ。一方で長野県では、県内のボランティアがものすごく多かったとか。同じ“海のない県”として「よそに頼らないで、自分たちでできることは自分たちで」という姿勢は見習うべきかも。

西日本豪雨の被災地では、2年近くたった今でも、生活再建できない被災者が多

数おられる。そのほとんどが、友人もなく家族や地域からの支援も受けられず（支援は公的機関のみ）に孤立している。湖東地区でも地域のつながりの希薄化がじわじわと進んでいます。ふだんからつながりを作っておくことが、災害時の助け合いにも直結するのではないか。

湖東まち協と食いしん防は、安心して暮らせるまちづくりのために、これからも美味しいものを食べ……じゃなかった、活動をしていきます！



今後の活動予定

未定 こと防 ブロック代表会議
未定 こと防 全体会議

※ 出前講座の申し込み受け付けてます！



勝手にQ&Aコーナー

Q：防災部会としては、新型コロナにどう対処しているのでしょうか。

A：感染しないことはもちろん大切ですが、もし感染してしまった場合でもそれを広げない（他人に伝染させない）ことと、ウイルスを撃退できる免疫力をつけることが重要と考えます。免疫力を高めるには ①たっぷり睡眠 ②美味しいものをたらふく食べる ③適度な運動 ④いっぱい笑う ことが有効ですよん。



Q：イタリアを応援するとか言いながら、結局は映画と食べ物話じゃないですか。茄子とベーコンのトマト・スパゲティが好きなようですが、どこの店が美味しいですか。

A：「オリーブ・キッチン」のが絶品です。近江八幡のユニクロの隣にあります。スパゲティを食べた後、残ったソースをパンにつけて食べるとほっぺたが落ちます。

楽しい質問、お待ちしております！



（文責：こじまっちょ）